



令和元年度



VS プロジェクト

ストーリー

Vol.8

食チーム





日程

令和元年 8月 20日 (火)
9月 23日 (月)
11月 26日 (火)
令和 2年 1月 19日 (日)



メンバー

高校生

きょうすけ、あやり、あや、想、ひな

事務局

朝日、衣斐、村井



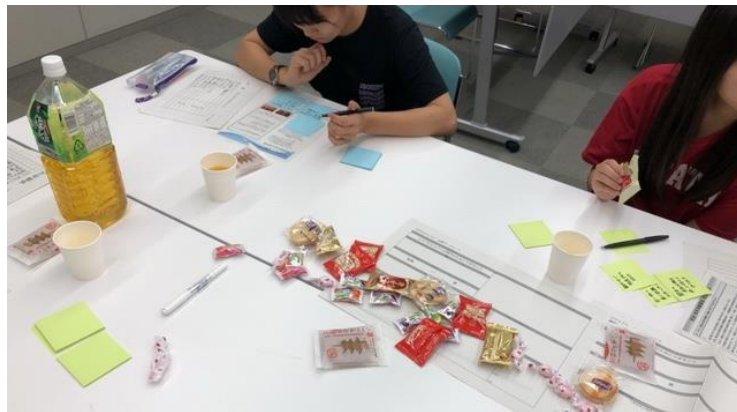
タイムスケジュール

8月 20日	企画提案「食チームとしてやりたいこと」
9月 23日	企画ワークシート作成
11月 26日	タピオカドリンク企画書。作成
1月 19日	タピオカドリンク試作
3月 7日	タピオカ試飲イベント※中止

平成 30 年度にそばのカフェおくどさんで行った
ミーティングでメンバーが出したおくど案に
“そば粉を使用した新メニューを開発したい”
“関市でコンサートを開催したい”
という案があったことをきっかけとし、
食チーム、音楽チームに分かれて
企画、運営を行うこととしました。

メンバーは食チーム 5 名、音楽チーム 5 名。

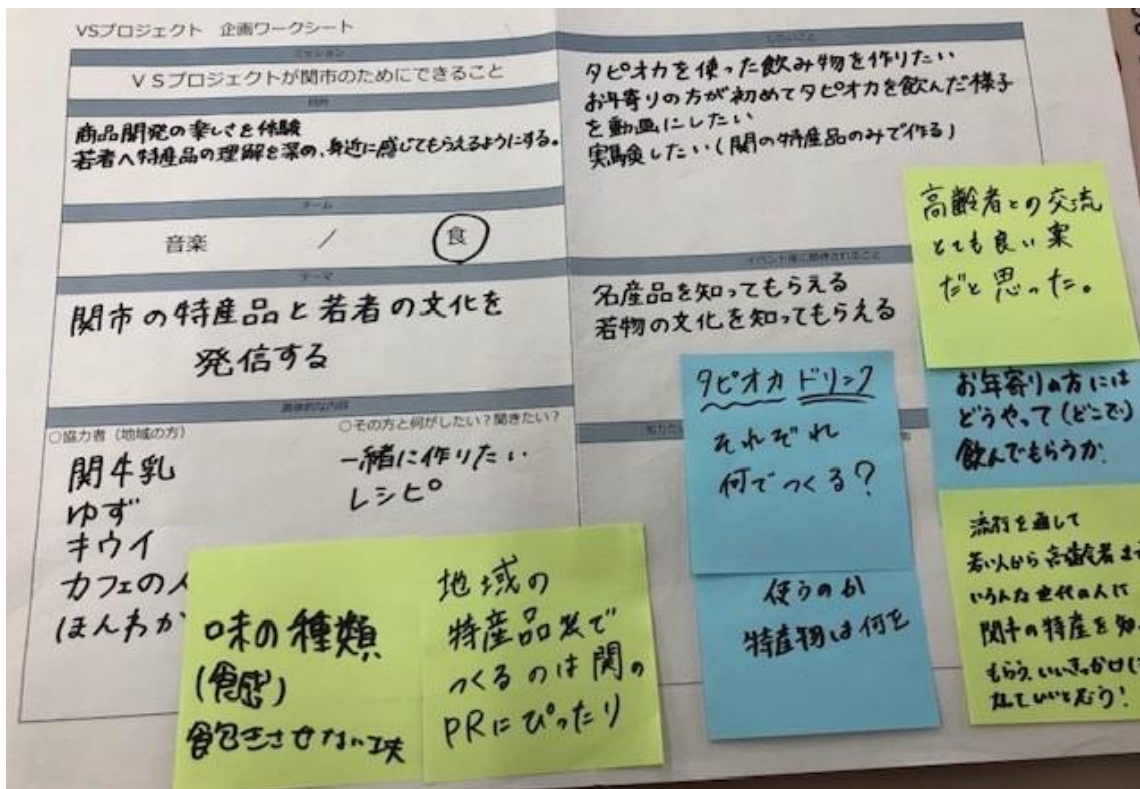
2つのチームに分かれてから
初めてのミーティングは、
食チームとしてやりたいことを
付箋に書きおこし個人ワーク。



模造紙に、意見をグループ分けをし、
実現性が高いか、地域貢献度が高いかを
考えてグループワークにて共有。

さまざまな意見が出る中、
共通したのは
・関市に貢献した事業を行いたい
・何かを作りたい
という意見でした。

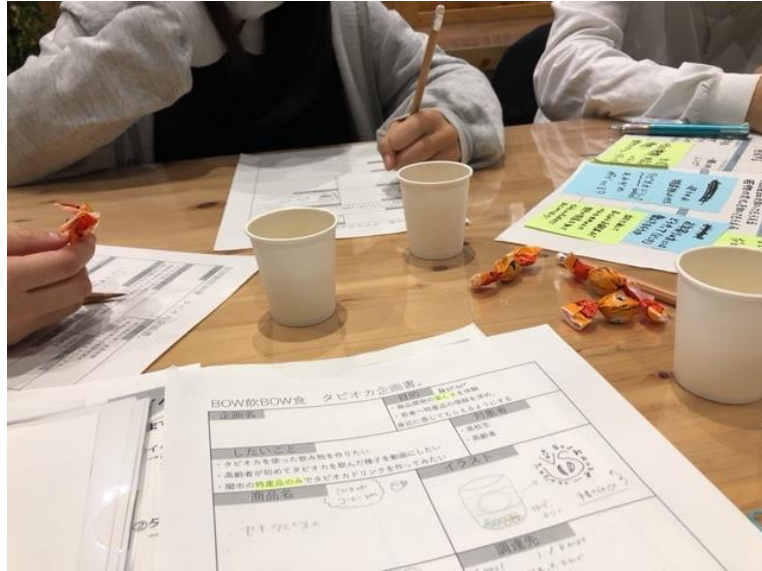
結果、
当時、世間で流行っていた
タピオカを使用し、
関市の特産品のみでタピオカドリンクを作り、
若者に特産品の理解を深めてもらい、
また、高齢者の方へ向けて
若者文化を伝えたいという意見にまとまりました。



中間報告会では、
企画ワークシートを共有し、
音楽チームに感想やアドバイスをもらいました。

次のミーティングでは、
タピオカドリンク企画書を作成してもらい、
どんなドリンクを作りたいか、
どんな特産品を使用するか、
を考えました。

個人ワーク。



そしてグループワークで共有。



高齢者にも食べやすいよう

長めのスプーンを用意し、タピオカをすくえるようにする、

せきタピという商品名をつけたりと、

さまざまなアイデアが飛び交いました。

BOW飲BOW食 タピオカ企画書。

企画名	目的 ・商品開発の楽しさを体験 ・若者へ特産品の理解を深め、 身近に感じてもらえるようにする
したいこと ・タピオカを使った飲み物を作りたい ・高齢者が初めてタピオカを飲んだ様子を動画にしたい ・関市の特産品のみでタピオカドリンクを作りたい	対象者 ・高校生 ・高齢者
商品名 せきタピオカ きゅういミルクタピオカ ゆずミルクタピオカ	イラスト のれものにタピオカ できるよ! 長めのスポンジカップを作るよ!
材料 ・タピオカ ・牛乳 ・果糖 - キウイ、ゆず ・サイダー	調達先 ⇒ 関牛乳 ⇒ スーパー

これらの企画書を元に、
関市の特産品を使い、
タピオカドリンクを試作しました。



- ・洞戸のキウイ
- ・上之保のゆずちゃ
- ・武儀のパッションフルーツジュース



・関牛乳・
関珈琲
を調達しました。

タピオカ作りからスタート。



初めて食べる
ゆずちゃ、
パッションフルーツに
嬉しそうなころちゃん。



贅沢にふんだんに
キウイを使用。



「ゆずちゃには何が合うかな〜」
「美味しい組み合わせ見つけた！」
と、高校も学年も違うメンバーも
いる中、盛り上がりました。

そして、完成。



タピオカに色をつけ、
カラフルなタピオカドリンクが
できあがりました。



キウイ×関牛乳×ヨーグルト

パッションフルーツ×サイダー



3月7日に予定していた、
「関市市民活動助成金活動報告&団体交流会」での
タピオカ試飲会は
コロナウイルス感染拡大防止のため
中止となってしまいました。

若者に関市の特産品などを通して
関市の魅力が伝わり、
地域の方と交流する機会を
増やしていきたいです。

